



TITLE:

研究開発コロキアムの概要

AUTHOR(S):

赤沢, 真世

CITATION:

赤沢, 真世. 研究開発コロキアムの概要. 子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究をめざして 2011, 中間報告書(2010年度): 22-22

ISSUE DATE:

2011-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179639>

RIGHT:

研究開発コロキウムの概要

院生主体課題探究・討論科目である「研究開発コロキウム」は、本研究科院生の学術研究活動の発展を図るため、平成18年度より実施されている。コラボレーション・センターにおいても、センターが設立された平成19年度から、本プログラム「子どもの生命性と有能性を育てる教育・研究推進事業」に関連する優れた研究計画に対し、科学研究費に準ずる形式でその研究の一部を助成するものである。

主に博士後期課程の院生が中心となって、時には所属講座や専攻を超えた横断的研究組織を立ち上げ、それぞれが理論・実践融合型のフィールド学として教育学をあらたに構想するための研究課題を設定し、公募・審査を経て共同研究を推進している。

さらにこのプロジェクトの特徴として、各研究課題は、新たに設置された大学院科目「研究開発コロキウム」として編成され、授業時間割に組み込まれている。担当教員の助言のもと、院生が主体となって授業を運営している。修士課程の場合は、単位認定の対象となる。

その過程で各グループは、通常の授業活動に加え、学外でのフィールド調査や学会発表、シンポジウムや研究会、ワークショップの開催など、きわめて多彩な活動を推進している。そして、その成果は、関連書学

会や学会誌などでの発表、現場への還元のほか、『研究成果報告書』として各年度末に刊行されている。

平成19年度は、7月末に公募を行い、教員による厳正な審査の後、教育実践コラボレーション・センターとして6件の研究課題を採択し、10月より活動を進めた。

平成20年度、21年度、22年度は、コラボレーション・センターの活動の3つのユニットに関連する研究課題を前年度の2月に公募し、4月より1年間のプロジェクトとして活動を進めている。

以下に採択課題名および研究代表者の一覧を紹介する。



▶京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・
センター『大学院生主体課題
探究・討論 研究開発コロキ
ウム 平成21年度成果報告
書』（2010年3月）

平成22年度 採択一覧（3件）

研究代表者	研究課題名
大下 卓司	大学院と学校との連携による授業改善
河野 一紀	精神分析理論から見た「発達障害」というカテゴリーについて
辻 喜代司	ライフストーリーを活用した地域生涯学習の実証的研究

平成21年度 採択一覧（3件）

研究代表者	研究課題名
細尾 萌子	思考力・判断力・表現力等の育成を目指す評価方法の開発と授業づくり
森田 健一	学校現場における心理臨床的関わりについての実践的研究
辻 喜代司	野殿・童仙房地域における生活の中の伝統行事のフィールドワーク—神社祭祀とその継承を中心として

平成20年度 採択一覧（3件）

研究代表者	研究課題名
本所 恵	一貫教育カリキュラムにおける授業づくりの理論と実践
西嶋 雅樹	学校現場における心理臨床的関わりについての実践的研究—新しい学びと育ちの場でのとりくみを通じて
児玉 華奈	続 野殿・童仙房地域における協働的な「学びの空間」をめぐるフィールドワーク

平成19年度 採択一覧（6件）

研究代表者	研究課題名
本所 恵	学力形成に向けた授業づくりの理論と実践
斎藤 桂	落ちこぼれをつくらないための教育制度研究—アメリカを事例として
児玉 華奈	野殿・童仙房地域における協働的な「学びの空間」をめぐるフィールドワーク
西嶋 雅樹	学校現場体験から見る心理臨床家の専門性
井上 明美	学校現場における心理臨床的関わりについての実践的研究—新しい学びと育ちの場・洛風中学校でのとりくみを通じて
小原 優貴	アジア諸国における生徒の個性に応じた教育に関する研究—日本・インド・中国・タイを事例として